

昨年の六月に西南ゆりの会会長のバトンを受け、早くも一年半を迎えようとしています。その間、改めて「同窓会とは?」と自問自答しながらの活動でしたが、最近、「架け橋」というキーワードで私なりにイメージしているところです。西南学院大学という共通の土壤の中で育つた同窓生同士が、お互いの支援と親睦を目的に情報交換や人材交流などの架け橋としての機能が同窓会ではないかと感じています。皆様はどのようにお考えですか?

さて、平成十五年度は役員の方々とともに力をあわせ、「機関誌白ゆり十一号」の発行をはじめ、「新垣勉」



西南ゆりの会会長

吉田扶久子
(商商68期)

架け橋をキーワードに



12
号

西南学院大学女子同窓会
(西南ゆりの会) 機関誌
2004年10月15日発行
発行人 吉田扶久子
福岡市早良区西新6-2-92
西南学院大学同窓会内

ンサート」「新春のつどい」「母校教授によるミニサロン」と四つの事業を実現することができました。

特に、コンサートの開催は、ゆりの会としては、初めて試みましたが、当日は約八百名の来場者の方々に大きな感動をしていただけたコンサートとなり、成功裡に終えることができました。準備に携わってくださった方達と共に心地よい達成感を共有することができ、同窓生としての絆が一層強くなつたことは大きな収穫でした。

また、第六回目となる「新春のつどい」も、より多くの同窓生が参加しやすくなるように、今までの趣向を変えて開催しましたところ、約百六十名の申し込みがあり、その反響に、手ごたえを感じました。当日は、初参加者も多く西南女子卒業生約二万四千名のネットワークが少しずつですが、確実に広がっていることを実感しているところです。なお、学内の現状は平成十六年五月現在、八三〇〇名中、女子学生数は四八〇〇名(58%)を占め、数においては、男女共同参画は実践されていますが、就職などでの実社会の対応には、まだ厳しい現実があるようです。

西南ゆりの会は来年二十年を迎えます。これからも大學同窓会の中で「元気の出る会」として、卒業生同士はもちろん大学や在校生との「架け橋となる会」でもあります。

本年度も、皆様方のお役に立てる事業を計画いたしました。「百聞は一見にしかず」です。大きく変化する西新・百道地区、そして松の緑を残しながらも、進化を続ける大学構内に是非足をお運びになりませんか。体感することにより、きっと心のリフレッシュになると 思います。多くの方の参加をお待ちしています。

今年度(秋～春)の主な行事ご案内

◆第十七回 秋のつどい

テーマ:「キャリアの軌跡—私の場合」

日時:十月二七日(水)午後三時半
会場:西南クロスプラザセブションホール
(西南学院旧中高跡地)

※大学三年生対象のセミナーですが同窓生のご参加も自由です。別紙チラシをご参照下さい。

◆第二八回 ミニサロン お茶会

日時:十一月六日(土)正午
会場:福岡東洋陶磁美術館お茶室
(城南区七隈八一七一四二
電話〇九二一八六一一〇〇五四)

抹茶席・慈庵・煎茶席・碧雲
定員:三千円(お弁当代)

申込:葉書に住所、氏名、電話番号、卒業学部、学科、年次を記入の上、
〒八一四一八五二 福岡市早良区西新
六一九二一九二 西南学院大学同窓会宛
十月二十五日(必着)迄にお申込み下さい。
定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

◆第七回 新春のつどい

日時:平成十七年一月二二日(土)
会場:西南クロスプラザセブションホール
(西南学院旧中高跡地)

※詳細は十二月発送予定の大学同窓会報にてご案内します。

西南ゆりの会「二十周年行事」について

ゆりの会は来年二十周年を迎えます。「こんな講演会を」「こんなイベントを」等のご提案をお寄せ下さい。皆で一緒に二十周年行事を創っていきましょう。皆様のご提案とご参加をお待ちしております。

連絡先:ゆりの会会長 吉田扶久子
(電話)〇九二一五一二二八八)

第十六回「秋のつどい」

新垣 勉 コンサートのタベ

オンリーワンの人生を歌とトーキで

二〇〇三年十一月二十六日(水)、真新しい西南学院中学校・高等学校新校舎チャペルに於いて「第十六回秋のつどい 新垣勉コンサート」が開催されました。(ピアノ伴奏・木村裕平)



蔵野音楽大学声楽科へ入学、同大学院

を修了されました。現在は自分を救つてくれた音楽の素晴らしさを伝え荒廃する青少年の心に「オンリーワンの人生を大切に」と呼びかけるコンサートや、ユーモアとウィットに富んだ講演会で多くの人々を勇気づけ、世界平和へのメッセージを発信されています。

開場前に並ぶ人々

「秋のつどい」当日は、メディアにも多く取り上げられている新垣さんの人気を反映して、卒業生以外に一般の方も多く、約八百名がチャペルに来場されました。

楽しいお話を交えながら、「アヴェ・マリア」「さとうきび畑」「母の歌」など、美しい歌声で観客を魅了され、中には

テノール歌手の新垣さん(神学部79期)は一九五二年沖縄生まれ。生後間もなく不慮の事故により失明し、高校時代に首里バプテスト教会の城間祥介牧師を通してキリスト教と出会い、本学神学部に進み牧師となられましたが、歌への情熱を忘れがたく、三二歳で武

生後まもなくの失明



(国文85期 山内 律子)

コンサートは中学校・高等学校のご協力を得て、新築のチャペルで行われました。開場前に小学生が興味深そうに校舎の中を眺める姿も見られました。真新しいチャペルは厳かな雰囲気とともに音響も素晴らしい、また大学のチャペルクラウドも賛助出演として花を添え、今回のコンサートはより一層素敵なものとなりました。

中学校・高等学校新チャペルで

法	科	大	學	院	棟
見	学	記			



二〇〇〇年四月から、我が国の法曹養成制度が大きく変わり、法科大学院いわゆるロースクール修了者でなければ司法試験の受験が認められないことになりました(移行期間もあり)。これに伴い、西南学院大学でも本年四月から法科大学院(多田利隆院長)を開設、一期生五一名(うち女子十八名)が新制度によるカリキュラムに従い、法曹めざして励んでいます。

大学院開設にあわせて、大学院棟も旧高校校舎跡地に新築され、赤煉瓦造り・四階建て約五百坪のアカデミックな中にも洒脱な姿で、周辺の注目を集めています。

五月十九日、ゆりの会の役員有志十数名が、新築の大学院棟を訪問、

学部は今

～経済学部（国際経済学専攻）～

テレビや新聞等で不況、デフレスパイナル、不良債権、ペイオフ等の経済用語が頻繁に現れる今日、経済の問題は私たちの生活のなかで大変重要なものです。

④ 経済学部誕生

経済学部（中馬正博学部長）は、一九六四年に商学部経済学科より経済学部経済学科として独立。その後日本経済の国際化に応えて、八八年には経済学専攻（来年度より経済学科）及び国際経済学専攻（同国際経済学科）に分かれました。現在の生徒数は一五六八名、うち女性は五八五名です。就職先としては、保険・銀行・証券などの金融機関が多く、その他にも新聞社や鉄道など多岐にわたっています。

⑤ 国際経済学専攻

国際経済学専攻科では、世界全体における経済活動の仕組み、国と国との間のヒト・モノ・カネの移動の仕組みを学びます。さらに、世界各国・各地域の経済の実態や社会・文化の特徴についても幅広く学ぶことができます。今回お訪ねした国際経済学専攻助教授の李先生は、韓国生まれ。ソウルの大学を出た後、東京都立大学院を出られて九二年より西南で教鞭を取つておられます。李先生は、経済学部でただ一人の女性教官。そして、国際経済学専攻は、五一〇名中過半数の二六七名が女性です。

伺ったところ、「西南では、未だに結婚したら仕事を辞める、と言う女性が多いのですが、韓国では仕事を一生続けるものとして大学を選んでいます。西南の女子学生は試験の成績は男子よりいいのに、自分の



李先生を囲んで右・渋田、左・桑野インタビュー

二人だけの女子学生 第一回卒業生

私は経済学部の第一回卒業生なので、当時の卒業生三二八名中、女子学生は二人（9%）でした。アルファベット順にクラス分けがあり、クラスに女性は一人という状態で、出席か欠席かは一目瞭然、代返を頼めず困った（?）ものでした。ゼミの選択にあたつても、ゼミ旅行があるから女性二人一緒にの方が多いと好都合だろうと同じゼミに決めました。

一番辛かったのは、男女雇用機会均

（経経65期 渋田 寿子）

それから四〇年を経て、女子学生の数も多くなり、今では37%だそうです。が、就職の壁はまだ厚い様です。けれど、アテネオリンピックに表れた日本女性の強さを持つ西南の後輩達は、きっとエネルギーで自分の道を見つけてくれる期待しています。

（文英61期 田村 明美）

優しい笑顔の中にも、自分の意見をきちんと話される李先生。その教えを受けた経済学部の女子学生たちは、きっと先生の望まれる女性として、社会の中で自分を活躍する場を見つけていくに違いありません。

（外仏75期 桑野 綾子）

意見はあまり主張しない。ゼミでも、発言するのはほとんど男子学生です。もっと社会に目を向け、与えられた能力を生かして一生の仕事を選んで欲しいですね。」とお答えいただきました。



（外仏75期 桑野 綾子）

まず、足を踏み入れたエントランス・ロビー、それほどの広さはないにしても、一流ホテルなみの風格を備えた立派なもので棟全体を象徴しているようです。本命の講義室は大、中、小それぞれに特徴があり、馬蹄形や扇型に机が配置された室もあって、学習効果へ配慮がされています。



特に、一二〇名収容可の大講義室は法曹には不可欠の裁判の実務に堪えるよう、模擬法廷も兼ねたものです。図書館には自学・自習目的の情報コンセント付キヤセルが設置され、これも自慢の施設の一つとか。

その他、各階には広々としたオーブンテラスやラウンジが配され、明るい陽光と緑の風に包まれながら、心身のリフレッシュができる空間としての演出が感じられます。床や壁の材質、廊下や窓の大きさ、天井の高さ、空調等、施設や設備の一つ一つに、ここで学ぶ者の学習を助けようとの配慮が十二分になされているようで、そのことに私たちも感動すら覚え、ここから多くの女子の司法試験合格者がいることを、期待したいと思つたことでした。

男と女が、共に輝く

福岡県男女共同参画推進課長

井原絹江さんに聞く



仕事中の井原さん

法学部73期の井原絹江さんが、今年度より福岡県男女共同参画推進課長になられました。

私たちにはまだ耳慣れない男女共同参画社会と言う言葉の意味、そして井原さん自身のことを伺いました。

井原さんの学生時代は、どんな時代でしたか？

入学当初、学院本館が学生により占拠された程、大学闘争が盛んでした。よど号

クラブ活動はなさいましたか？

ギターが弾けるといいな！と河鹿ギター・アンサンブルに入部していました。演奏会を通じて感動を共有でき、クラブ員は仲が良かつたですね。卒業して約三十年ですが、今でも時々職場に訪ねてきてくれます。大事にしたいですね。

当時の女子の就職状況はどうでしたか？

就職時は、第一次石油ショックによりトイレットペーパーや洗剤の買いだめ騒動で狂乱物価がおこり社会経済情勢はとても不安定でした。女性の求人がなく、まして四年制の大学を出た女性の就職先は殆どありませんでした。私は、自分が育った福岡が好きで、行政の仕事がしたくて福岡県職員採用試験を受けたところ、幸い合格し現在にいたつてます。

今年、保健福祉部から生活労働部の男女共同参画推進課に異動しました。「男女共同参画社会」というと、難しくて堅そうなイメージを持たれるかもしれません。女性も女性も、共に自立し、対等な立場で一人ひとりが自分らしくいきいきと活動できる社会です。

女性の自立と社会参加を促進する為の政策は、昭和五十年の国際婦人年を契機に、各国で取り組まれて、大きく進みました。平成十一年、国では男女共同参画基本法が制定され、福岡県では十三年に男女共同参画推進条例を制定しました。市町村では、福岡市をはじめ十四市町で条例が制定されています。

しかしながら、その進捗の実態は、足踏み状態とも言えます。先日公表された国連二〇〇三年のジェンダー・エンパワーメント指数では、日本は世界70カ国中44位と、先進国の中では最低のランクでした。国会議員や管理職に占める女性の比率は極端に低く賃金収入も男性の約六割に過ぎません。つまり意思決定への参画が極めて遅れているのです。国では、二〇二〇年までに、社会のあらゆる分野において、指導的地位に占める女性の割合を、少なくとも30%にしようという目標指数を掲げています。もつともっとエンパワーメントしていく必要があります。

福岡県では、男女共同参画計画に基づき総合的に施策を推進していますが、中でも審議会等に占める女性の割合を十七年度までに35%にする目標を掲げ取り組んでいます。現在の登用率は34%ですが、鳥取・青森に次いで第三位の高位置にあります。又、雇用の場における男女共同参画を進めるため、子育て応援宣言登録制度を設け、八月現在31社が登録されています。就職活

動において企業選択の目安にされるといふと思います。

最後に、「西南の後輩に望む」とを

男は仕事、女は家庭といった固定的役割分担意識にとらわれることなく、自ら選択し、男性も女性も職場で、家庭生活で、地域社会でそれぞれが能力を發揮し、ともに責任を負い、喜びを分かち合い支え合う男女共同参画社会の実現が、今、求められています。

後輩の皆さんには、これから就職活動を行なう仕事を就かれると思いますが、自らの可能性に挑戦し、自分の未来を自らの手で拓きいきいきとした人生を送つていただきたいと思います。

結婚し、子供を育て、尚且つ男性と同じように仕事を続けてこられた井原さんは、まさに男女共同参画社会の実践者ですが、「私は自然体だから」と肩ひじ張らずしながらやかです。

(外仏75期 桑野 綾子)

※ジェンダー・エンパワーメント指数

女性が積極的に経済界や政治生活に参画し、意思決定に参加できるかどうかを図るもの。具体的には、女性の所得、専門職・技術職に占める女性割合、行政職・管理職に占める女性割合、国會議員に占める女性割合を用いて算出する。

母校教授の卓話とハワイアン

同窓会つていいですね!!

第六回新春のつどいが、英國製レンガ造りの重厚な中学校高等学校新校舎食堂で、一月二十四日に開かれました。

雪が舞う寒い日にもかかわらず、ご来賓と

して本学のシイート院長、村上隆太学長、同窓会連合会会长の長束正之氏、九州大学女子学生の会「松の実会」会長、福岡大学同窓会(社)有信会レディースクラブ会長を迎えて、60期から04期までの同窓生ら約百三十人が、心温まるアフタヌーン・ティのひとときを過ごしました。

ワークを広げてほしい

RKB毎日放送の納富昌子さん(外英76期)

の司会で華やかにオープニング。吉田扶久子会長(商商68期)が「同窓生の出会いと楽しい語らいの場として、ゆりの会を活用し、ネット

ワークを広げてほしい

と挨拶した

後、村上隆太学長が祝辞を述べられました。

会では、

65期から75期まで続いた本学ハワイアンによる演

奏で雰囲気



は最高潮。その後、趣を変え、本学文学部の宮原哲教授による講演を、参加者は熱心に聴いていました。

宮原教授は、「身近で奥深いコミュニケーション」と題して講演されました。コミュニケーション的道理は、自分を知ろうという気持ちそのもの。親子、夫婦、教師と生徒、先輩と後輩など、いつでも、どこでも、ちょっとしたやり取りを通して自分を知ることができます。初めての相手とでも自分に合ったコミュニケーションの方法が見えてくる。それぞれが自分の生き方を探し、豊かに人生を送ろう!!と、私たちに熱いメッセージを伝えられました。

オープンしたばかりの新校舎で、おいしい料理、楽しい音楽、そして有意義な講演会の中

で、それぞれが心ゆくまでネットワークを広げ合つたつどいでした。

尚、シイート前院長は任期満了に伴い、七月三一日(土)帰米され、ゆりの会からも吉田会長他有志数名が見送りました。



大学募金についてのお礼とご報告

大学募金についての
お礼とご報告

第二七回 ゆりの会ミニサロンが、二〇〇四年三月二十四日(水)午後六時半から、福岡市天神の赤煉瓦文化会館にて開かれました。三月末日を以って西南学院大学を退職される経済学部及能正男教授をお迎えして、「お金の話あれこれ」と題してお話をいただきました。同教授は、メディア(経済誌)への発信度の高さで全国的にも著名であり、金融に関する入門書から専門書までの著書も多数です。

明治末期に建てられたレトロな雰囲気の漂う会場を埋めた約三十名の参加者は、お金にまつわる身近な話題から国際金融市场の動向まで、同教授の豊富な

知識を交えての幅広い方面でのお話を伺うことができました。卓話の後、参加者が銀行との付き合い方についてのアドバイスを求めるなど具体的な質問も飛び出し、午後九時の閉館間際まで活発な意見交換が続きました。

第一七回 ゆりの会ミニサロン 及能教授に学ぶお金の話あれこれ

（法法73期　井原　絹江）

昨年、白ゆり11号で大学募金へのご協力をお願いいたしておりましたが、皆様の多くはご理解とご協力により、早くも西南ゆりの会としての目標額の達成ができましたこと

に厚く御礼申し上げます。

早い、平成十六年五月十九日村上学長をお訪ねし、募金60万円を贈呈いたしました。

皆様方へ御礼と感謝の意をお伝えください。

（西南ゆりの会会長　吉田扶久子）

寄付金は、大学新チャペル、学外連携施設建築資金一部にあ

（法法73期　井原　絹江）

てられる旨のお礼状も受領証とともにすでに大学より届いています。

なお学院全体としての募金目標額へは、まだ厳しく状況にありますので、引き続き募金協力をよろしくお願ひ申し上げます。今後の募金については学外連携推進室へお問い合わせ下さい。



(外英80期　古賀　敦子)

懸け橋 江原道観光に全力投球

中村繭子（外英03期）

国と国、人と人、過去と未来、そして夢へとつなぐ懸け橋。今までおなじみの「海の向こうから」に代わる新シリーズです。初回は韓国江原道観光事務所の初代職員になられた中村繭子さん（外英03期）のご紹介です。



韓国に年間七千万人の観光客が訪れるところがあることをご存知でしょうか。首都ソウルでもなく、釜山でもない、韓国北東部に位置する江原道（カンウォンド）というところです。

人口一六〇万人の江原道は、名山雪嶽山や冬のスポーツの本場として知られていますが、訪れる日本人は年間十五万人ほどです。この江原道が二〇〇二年十一月に単独で海外観光事務所を福岡市内に開設し、私は開設当時からただ一人の職員として勤務しています。

世界とかかわる仕事を

二〇〇二年の夏、大学四年生だった私は米国サンディエゴ州立大学での交換留学を終えて帰国した後、就職活動を始めました。大学では異文化コミュニケーション

ンを専攻し、英・中・韓の3ヶ国語も学んでおりましたので、「世界とかかわりが持てる」仕事をしたいと思っていました。就職課の掲示板で韓国の観光PRをする仕事をあることを知り、応募、運良く採用され、仕事と学業を両立する生活が始まりました。

当時私が苦労したのは文化の違いよりも、システムの違いだったように思います。

日本では就職難であろうと実際に仕事に就くのは卒業してからですが、「パルリ、パルリ（急いで、急いで）」が口ぐせの韓国では就職先が決まると正社員同様働きだすのがまれではないのだと、後になって聞きました。

その後何とか卒論を提出し卒業、就職しましたが、事務所の職員は私一人ですので、経理や総務などの仕事もしながら、日本人観光客を韓国江原道へ誘致するため活動しています。具体的には、旅行会社で江原道に立ち寄る旅行商品を企画していましたが、マスコミに江原道観光を記事として取り上げていただくこと、そして一般の方々に江原道の観光の情報を提供することです。

「冬のソナタ」ブームで

就職當時は仕事もあまりなかつたのですが、韓国人気ドラマ「冬のソナタ」の撮影地のほとんどが江原道にあることから、放送後、旅行客も報道や旅行商品も増えました。「冬ソナ」ファンの方のために撮影地についてお話をすると、高校時代を

彼らが過ごした「春川（チョンチョン）」は江原道の道府がある静かな街で、大晦日に待ち合わせをしたツリー・やバス通り、あの並木道がある「南怡島（ナミソム）」があります。そして、ユジンが運命の再開を果たすスキー場が「ドラゴンバレー」。二人が乗っていたゴンドラが大人気で、他にもスキー場内にロケ地が点在しています。二人が出かけた海岸は東海（トンヘ）市の「湫岩（チュアム）海水浴場」です。私はどちらにも何度か足を運びましたがとてもいい雰囲気の落ち着いたところです。

このように、西南で学んだことや経験したことが一〇〇%活かされて仕事をしております。プライベートでは米国留学がきっかけでラテン文化に興味を持ち、スペイン語とラテンダンスを楽しんでいます。今後どの道を進んでいくかは分かりませんが、人とのつながりを大切にしながら、もっと自分が好きだと思えるような楽しいことをやつていきたいと願っています。

（外英03期 中村 繭子）

セピア色の一枚



昭和四十一年入学と同時に出身が広島県呉市でしたので汀寮に入り二年間の寮生活を本当に楽しむことができました。当時は大学祭が中々盛んでいろんな行事が催され、中でも仮装行列は人気があり西南大から天神までを長々と練って歩くという代物で、多くの団体の参加があり上位に入ると賞が出るという形式でした。

汀の寮会でも熱い提案が沢山出され、結果「草分けの女子学生」というタイトルで全員、着物・ハカマ・ソウリで参加することを決定し、私も一年生ではありませんでしたがコスチューム係の責任者となり着物・ソウリ五〇着はドンタク隊ならばあるだろうと察し、新天町を一軒一軒頼みこみ借りまわりました。ハカマの方は弓道部のキャプテンに頼み、足りない数は又、別の部を紹介してもらうといった具合でとにかく上から下までのコスチュームを揃え、いざ大学祭！！

（外英70期 山崎 美知子）

○四年新春のつどい お申し込みから

三上 正子（短児61期・柴原）

○三年四月、十四年間教会の掲示板に聖書のみことばに花を添えて掲示したものを奉仕のまとめ「ゆり」として自費出版致しました。売上金額をESNAC（アジアとアフリカの子供たちに教育を送る会）の「わかつ合いの泉基金」に寄付することを趣旨とした出版です。

大石 幸子（英文70期・満生）

○三年は父の死と子供二人の結婚で周囲の風景が一変しました。今は皆さんの老後生活の安定をお手伝いする工キスパート共済の仕事に励んでいます。

大原 美貴和（英文73期・山崎）
娘三歳と二八歳に手がかかるなくなつたので、海外の友人たちとの交流に一層力を入れて国際親善を楽しんでいます。イタリア語の勉強も三年目。本場でカンツォーネを歌えたらしいなというのが目下の私の夢。それに向かって努力!!

豊田生 裕子（英文73期・大場）
遠賀町の教育委員をしていました。二十年間子供の絵本中心の読み聞かせボランティア、ふれんす、を主催。また町に民間で国際交流協会を立ち上げます。どなたでも会員になつて下さい。国籍年齢は問わず、どこに住んでいてもOKです。

藤田 薫（児教84期・秋吉）
卒業してからもう二十年。時々、舞鶴幼稚園へお手伝いに入るのをとても楽しみにしています。わが子も中三と中一になり

指導やママさんコーラスを楽しみに暮らしております。

子育ても一段落。昔の友人に会いたいなと強く感じる自分に、年とったなあと自覚しているこの頃です。

野口 紀子（児教81期・塔村）

十年前よりアクティブラーニング（より良い親子関係講座）の講師をしています。子育てが困難な近年、講座や講演会を通して子育てにかかる人たちの重責が（精神的に）少しでも軽くなるようにと応援しています。

藤井 優子（児教81期・西住）

百道界隈を車で通る度に、母校の隆盛と発展を喜ばしく思っています。

久富 直子（英専83期・河田）

西南の四年間は新鮮な驚きと体験で満ち溢れ本当に楽しく、今も私の心に鮮明に残っています。今はネイティブの先生と一緒に子供たちに生きた英語を教えております。これも西南で色々な経験と知識をいたいたお陰と感謝しております。

塙田 恵美子（国文90期・森）

○二年七月、学内に新設された「学外連携推進室」に配属されています。

西村 万里子（経済92期・湯田）

結婚後、何度も引越しをし、（福岡市内→北九州市→ベルギー）現在は福岡市内において主婦をしております。新校舎の素晴らしい美しさに、前を通る度に感動いたしております。

阿部 はる奈（国文95期・井上）

○三年四月に結婚し、長崎から大阪に転居致しました。今はのんびりと主婦をしております。宮原先生には丁寧の看監をしていただいたり、英語の授業をしていただけたり、楽しい思い出が一杯です。

福永 美和（英専97期）

現在、県立高校勤務で、今年で六年目を迎えます。目には見えない所で西南学院生を受けました。お手伝いしたことや感じたことが出来るようになりました。

◆とびうめ国体
○四年十月三十一日(日)
曲目：シェエラザード
◆OBオーケストラ定期演奏会
○五年二月二十日(日)
曲目：シベリウス交響曲第二番
◆橋オーケストラ定期演奏会
○五年七月十八日(日)
曲目：ベートーヴェン交響曲第七番
会場はすべてアクロス福岡です。
皆さまどうぞお気軽にお越し下さい。

Buen Merishaさん卒業おめでとう!! ～サラマッポ会より感謝状～

西南ゆりの会では1992年より、サラマッポ会（フィリピン・日本国際教育里親運動の会）を通じて、フィリピンの女子大学生の学費支援（年間5万円）を行っています。

既に、2名のフィリピン女子学生の卒業を助け、3人目となるBuen Merishaさんが本年3月にATENEO DE NAGA UNIVERSITYを無事卒業されました。サラマッポ東京事務局より感謝状が届きましたのでお知らせいたします。

尚、サラマッポとはフィリピン語で「ありがとう」の意です。ゆりの会では今後も新たな学生の援助を続けてゆきます。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



西南OBオーケストラからのご案内

◆とびうめ国体
○四年十月三十一日(日)
曲目：シェエラザード

◆OBオーケストラ定期演奏会
○五年二月二十日(日)
曲目：シベリウス交響曲第二番

◆橋オーケストラ定期演奏会
○五年七月十八日(日)
曲目：ベートーヴェン交響曲第七番

福田 勝江（児教80期・緒方）
故郷で主婦として、また小さい子の学習

2003年度 収支報告書(2003年4月1日~2004年3月31日)

1.収入の部

項目	収入額	備考
縁越金	5,318円	2002年度より縁越し
同窓会補助金	400,000	西南学院大学同窓会よりの活動補助金
講演会会費	234,000	新春のつどい会費 会費 @1,500×109 @1,000×3、お祝い金
ミニサロン会費等	36,000	会費 @1,200×30名
寄付金取りくずし	350,000	ゆりの会への寄付金より
収益金とりくずし	50,000	西南ゆりの会主催コンサートの収益金より
雑収入	17,985	総会パーティ券還元分等
収入の合計	1,093,303	

1.支出の部

項目	支出額	備考
後援会費等	292,988円	新春のつどい 料理代・花代等
ミニサロン費	57,150	講師謝礼・会場費・軽食代費
講師謝礼	50,000	新春のつどい 宮原先生及びモアナハワイアンズ謝礼
慶弔涉外費	71,313	他大学や支部会等の総会・集まりの出席費用等
通信費	274,438	会誌「白ゆり」発送費用
印刷費	230,193	会誌「白ゆり」作成費 会封筒、案内状等作成費
会費等事務所費	33,306	役員・委員会会場費等
特別費	50,000	サラマップ会寄付
雑費	12,139	事務用品・コピー代等
縁越費	21,776	2004年度への縁越し
支出の部合計	1,093,303	

2003年度 西南ゆりの会事業報告

(2003年4月1日~2004年3月31日)

1.特別研修会

スーパー歌舞伎「新三國志パートⅢ」の鑑賞と博多座見学
日時 2003年5月11日(日)
会場 博多座

2.西南ゆりの会総会

日時 2003年6月13日(金)
会場 ソラリア西鉄ホテル

3.西南学院大学同窓会総会

日時 2003年6月13日(金)(ゆりの会総会と同日、同会場)
積極的に参加する

4.機関誌「白ゆり」第11号

2003年9月1日発行ならびに発送

5.第16回秋のつどい

新垣勉コンサートのタベ

日時 2003年11月26日(水)
会場 西南学院中学・高等学校新校舎チャペル

6.第6回新春のつどい

~アフタヌーン・ティのひとときを~

日時 2004年1月24日(土)
会場 西南学院中学・高等学校食堂ホール
テーマ 「身近で奥深いコミュニケーション」
講師 宮原哲 西南学院大学教授
音楽鑑賞 モアナハワイアンズ(OB・OG)

7.第27回ミニサロン

日時 2004年3月24日(水)
会場 福岡市赤煉瓦文化館
テーマ 「お金の話あれこれ」
講師 及能正男 西南学院大学教授

8.サラマップの会援助 フィリピンの女子学生に奨学金

9.定期役員会 月に1回 昼と夜を交互に開催

10.委員会(広報・名簿・事業) 必要に応じて随時

カンパのお礼とお願い

後編記集

西南ゆりの会の最大の課題はやはり会員の輪を広げて行くことには他ならないと思います。西南学院大学を卒立った女性たちが誇りを持った社会の一員として生き、できることが本当の意味での男女共同参画社会へむけて輝いていくようコミュニケーションを図っていきましょう。それが年一回

発行するこの会報の大きな役割だと思っています。世代で固まるのではなく若い世代のゆりの会の会員へお声かけをして一代の人でも多くの卒業生にゆりの会への関心を持っていたらと思います。国際感覚豊かな福岡の女性の創造を目指にかかげて今年の会報の編集後記と致します。

昨年度も多くの方々からカンパを頂き本当にありがとうございました。当会はいわゆる固定の会費徴収を行わず学院同窓会からの補助金(年額四十万円)で運営されています。経常の活動費、秋のつどいやミニサロン等の行事関係、会報白ゆり三千部の制作費、郵送費等補助金だけでは到底まかないきれないのが現状です。せめて会報が卒業生全員にお届けできればと願っているところです。皆様からのカンパ金のおかげでこうした活動が続けられることに感謝し、ここに重ねて厚くお礼を申し上げます。

何卒事情ご観察の上、本年もカンパを切にお願いする次第です。お志のある方は同封の振替用紙で一口千円(何口でも)お振込みいただければ幸いです。

なお、昨年度カンパして頂いた方のお名前を感謝とともに記させていただきます。万一手違ひのためにお名前が洩れてしまふ方がいらっしゃいましたら、お手数でもご一報下さいますようお願いいたします。

郵便振替番号

(会長 吉田 扶久子)

青山容子、阿部真知子、阿部久満、網田翠、荒川たず子、荒木真理子、有田英子、有地真理子、井口紀子、井原絹江、岩澤ゆかり、岩切裕子、内海昌子、尾崎美子、尾崎恵子、岩尾豊子、江川ルミ、大田千恵美、岡部葉子、岡村裕美、柏木律子、嘉村理実、亀井雅子、河内光子、川寄三朝子、北原明子、草場久子、串崎尚、楠原町、倉光なみを、栗林文子、黒岩綱代、黒岩田希子、桑野綾子、古賀敦子、古賀功子、古賀ミエ、古賀靖子、米多比喜代子、河野ユリ子、佐々木宏子、佐藤恵子、柴田和子、柴田三和、渋田壽子、白井紘子、末松和子、末安敦子、鈴木黎子、諏訪潤子、副田宥子、高丘和子、高橋記代子、高木幹子、田代貞枝、高田仁美、高山和代、田栗由美子、立石智子、田中淳子、田中澄代、田村明美、塚田恵美子、辻隆子、寺嶋佳都子、土井光子、土井美弥子、徳王雅美、徳安和美、中村さとみ、長岡陽子、中里利子、永嶋恵美、中野和子、中野茂代、永田治子、永谷美智子、永光加代子、野副信子、野田光子、野見山哲子、羽瀬川順子、林登志美、平田紀子、広松玖美、福井寿子、藤木規美子、藤崎喜久子、藤沢侑子、藤原良一、将口忍、真島志可子、松浦ゆかり、水城啓子、皆上敬子、岡悦子、宮崎朝子、宮崎政江、宮原三知子、森憲子、森口由香利、森本博子、矢野多恵子、山内純子、山内律子、山崎美知子、柳瀬啓子、柳瀬恵子、吉田敏美、吉田扶久子